

稲城野草散策の会

野草スケッチ ヒメウズ（キンポウゲ科）



1996/04/26

稲城市押立

絵と文 Ta

ヒメウズは「姫烏頭」と書く。

烏頭とはトリカブトのことだ。

早春に見られる越年葉の形が、トリカブトに似ていることからの命名だという。

ヒメウズをはじめて見たのは、三浦半島、日本植物友の会の観察会だったような気がする。

稲城にもあることを知ったのは、その1～2年あとだった。

会報第14号 2006年2月12日発行 発行責任者 尼子 房夫

三浦半島の春は早い。

2月頃、鎌倉あたりでヒメウズが咲いていたりする。

私のフィールド、多摩丘陵では、4月に入ってからが本番だ。

三浦半島と稲城でどれだけの気温差があるのか知らないが、花期が1月以上ずれていることになる。

温度により花期が左右されるのは植物にとっての宿命みたいなものだが、ヒメウズは極端にずれるように思えてならない。

三浦半島に「富士山」がある、というと、怪訝な顔をされる方が多い。

「津軽富士と同じような俗称でしょう」という反応もあった。

しかし、三浦半島の富士山は、国土地理院の地図にも載っている、正真正銘の「富士山」なのだ。

もっとも、標高は183mなので、静岡・山梨にまたがるあの富士山とは比べものにならないが。

暖かいはずの三浦半島で、凍えるような目にあったことが2回もある。

2回とも寒さにめげて、富士山までは辿り着けなかった。

稲城野草散策の会では、三浦半島で「富士登山」を何度か行った。

数年前の2月、当日の朝、起きてみると、一面の銀世界になっている。

そういえば、2.26事件の日も東京は雪だったそうで、2月下旬に雪が積もることはありえない話ではない。

当会は事前申込みが不要、という点を売り物にしているので、集合場所へ出かけてみないことには、誰が来るのか判らない。

こういうとき、ラジオ、TVで連絡を流すほどの財力はない(キッパリ)。会長と相談して、集合場所の横須賀中央駅へ出かけることにした。

この雪ではおそらく誰も来ないだろう。それを確認して帰るつもりだった。

ところが、集合場所に、1名の参加者が待っていた。

1名でも参加者があれば、会としての行動をとらざるを得ない。

・・・というのは建前で、参加者と話し合っ、富士登山は中止した。

雪の富士山で遭難したら大変ですからね(^_^)

それでもせっかくだからと、3人で江ノ島見物をする事になった。

何年振りかの江ノ電はがら空きで、思いがけないミニ旅行を楽しんだ。

2回目は今年(2002年)の2月である。

しばらくぶりの富士登山なので、以前と様子が変わっているかもしれない。
本番は2/17だが、2/3に下見を行った。
この日は雨、明日は立春とは思えないような、肌寒い一日だった。
集まったメンバーは3人。覚悟を決めてバスに乗り込み、登山口まで行ってみることにした。

バスに乗って愕然としたのは、バス停の名前がみんな変わっていることだ。
どこで降りたらよいかわからない。
バスの運転手も、「ここか、ここでしょう」という頼りない返事である。
降りてみれば、町並みはすっかり変わっている。浦島太郎の心境だ。
田んぼ道を辿って・・・という記憶はぜんぜん役に立たない。
あちこちで道を訊いて歩き出したが、寒い。ともかく寒い。雨は止みそうもない。
それでもヒメウズが咲いていたのにはびっくりした。

結局、富士山の手前にある武山には辿り着いたが、それ以上は進む元気がなくて引き返したのだった。
横須賀へ戻っての熱燗がじつに美味しかった。

〔行事記録〕 1月21日七草摘み 22日七草粥

七草摘み

昨年に続いて今年も雪の中の七草摘みになりました。東京は雪との予報が当たったにもかかわらず若葉台に集合したのは7人のさむらい達でした。汁守神社の裏手で一面の雪を掻き分けてその下からナズナやハコベを見つけて来ました。相当に寒かったので、早めに切り上げて新年会に移行しました。少なくとも七草粥ならぬ五草粥くらいは出来そうです。

七草粥

前日が雪で七草摘みに参加出来なかったことで気後れがしておいでにならなかった方が多かったようです。それでも26名の参加があり、公民館で美味しい七草粥、お汁粉を作り、皆でいただきました。美味しかったですよ。十分に準備してあったので、遠慮しないで、もっと大勢いらっしゃればよかったのですが。

2006年度の行事予定を皆さんのご意見をお聞きして最終決定をしました。データを整理してHPにアップします。バスは4月27日(木)に「函南原生林」、一泊観察会は4月1日～2日(土日)に「葦毛湿原」を行ないます。

今回も本当に段取りよく出来て楽しい会になりました。催しの準備方をして下さった皆さん、本当にありがとうございました。(FAM)

〔行事予定〕 2006/3/19 (日) 裏高尾・日影沢

項目	説明	地図
集合	am10時、日影沢の橋付近（今回は高尾駅ではないのでご注意ください）	
交通	<p>JR中央線快速、特別快速高尾行きまたは京王線高尾山口行きをご利用下さい</p> <p>JR中央線高尾駅北口からバスで日影バス停まで来て日影沢の橋に集合して下さい</p> <p>バスは9時29分、46分があります（220円）</p>	
行く先 (解散場所)	<p>裏高尾・日影沢の溪流沿いの道、林道を歩きます</p> <p>日影バス停 pm3時頃解散予定定</p>	
見所 その他	<p>見られそうな花：ハナネコノメ、コチャルメルソウ、アズマイチゲ、キクザキイチゲ、ニリンソウ、トウゴクサバノオ、アブラチャンなど</p>	<p>〔コース〕</p> <p>日影沢の橋→ハナネコノメ→ウッディハウス（昼食）→いろはの道（ゆるい登り）→林道→急な下り道→日影バス停（解散・・・15時頃）（上の地図を参照ください）</p> <p>コースは天候その他により変更する場合があります</p>

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円